

かていがくしゅう 家庭学習のてびき

令和4年度 旭市立琴田小学校

小学校の学習は、将来、社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「読む」「書く」「計算する」力は、欠かせないものです。学校では、お子さんの基礎・基本的な学習内容の定着と学習意欲の向上を目指し、日々努力と研鑽を重ねています。しかし、確かな学力を身につけるためには、学校教育のみならず、家庭教育も大切な土台となります。お子さんが自ら学ぶ力と、よりよい学習習慣を身につけられるよう、ご家庭のご協力をお願いします。

1 家庭学習を始めるにあたって

【学ぶ環境をつくりましょう】

- 正しい生活リズムをつくる。
- 学習時間を決めて、毎日行う。
- テレビを消し、マンガ・スマホなどはしまう。
- お家の方が声をかける。(低学年は一緒に、高学年は励ましを)

学ぶための基礎づくり

習慣化

集中力アップ

意欲アップ

2 学習時間の目安 (宿題+自学)

学年×10分以上 (6年生なら6×10=60分以上)



3 家庭学習の目標

1年生	宿題を確実にやる。本を読んだり、読み聞かせてもらったりする。
2年生	宿題を確実にやる。本を読んだり、読み聞かせてもらったりする。 お家の方と一緒に、漢字・計算の復習や九九の暗唱などをしようとする。
3・4年生	宿題を確実にやる。 お家の方の声かけで、自主学習(自学)に少しずつ取り組む。
5・6年生	宿題を確実にやる。 自分で自学のテーマを決め、進んで取り組む。

4 家庭学習を続けるポイント

①まずは、できることから始める。

初めのハードルは低く、お子さんの力に合わせて、少しずつステップアップしていきながら、学習内容の調整をお願いします。

②家庭内のコミュニケーション

お家の方も家庭学習に関わっていきましょう。低学年は、教えたり見直したりすることで、お子さんの学習傾向も分かってきます。高学年も任せきりでなく、声をかけたり、話題にしたりすることで、意欲が向上します。

家族の会話が増えることは、お子さんの安定にもつながります。

③ほめる、励ます、伸ばす。

言葉は魔法のシャワー。子どもはかけられたシャワーを吸収して育ちます。がんばりや、前より進歩したとことを認め、励ますことを心がけることが大切です。